

令和8年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和8年7月13日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 万富ピンポン
氏 名 会長 梶上 洋司

令和8年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ「スポーツで広がる協働のまちづくり」

取組の名称	ピンポンで広がる地域の輪
取組の概要	1 万富ピンポンクラブ 火曜日昼の部 13:30～15:30 火曜日夜の部 19:00～21:00 木曜日昼の部 13:30～15:30 2 練習場所 万富公民館 大研修室 3 参加者 火曜日昼の部 30人(学区内7人、江西学区11人、他12人) 火曜日夜の部 10人(学区内6人、江西学区4人) 木曜日昼の部 26人(学区内14人、江西学区3人、他9人) 合計 66人(学区内27人、江西学区18人、他21人) 4 練習内容 万富ピンポンは、それぞれが独立したクラブとして運営を行っており、それぞれが独自の練習方法で活動を行っています。 各クラブとも、万富公民館の大研修室で6台の卓球台を使用して2時間練習を行っています。 クラブの会員は、千種学区内の人や学区外の卓球愛好家が多く参加し、地域間交流にもなっています。 参加者は番号を決めて、全員が対戦相手を変わりながら卓球を楽しんでいます。休憩に入った人は、網を持ってピンポン玉の回収を行い、練習の手助けを行っています。
成果・効果	日頃、運動不足になりがちな高齢者にとって、万富公民館の大研修室で卓球をすることは、適度な運動と気分転換になって、健康で生き生きとした生活を送ることができるようになっていきます。 また、千種学区内の会員や学区外の会員も数多く参加し、卓球を通じて交流が深まっています。 卓球というスポーツを通じて交流が進み、参加者にとって生きがいにもなっています。卓球を通じて仲間が増え、2時間の練習時間で笑顔が溢れ、いきいきと活動ができるクラブとなっています。

【様式1】 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	ピンポンで広がる地域の輪	
テーマとの関連	少子高齢化が進んでいる千種学区にとって、地域で生き生きと過ごすことができる取り組みとして、万富ピンポンクラブは健康づくりに大いに貢献しています。 万富公民館大研修室で、卓球というスポーツを通じて、学区内の人や学区外の人が交流をすることによって、交流の輪が広がり住みよいまちづくりにもつながっています。 これからも、この万富ピンポンクラブは活動を続けていきます。	
取組の目的・目標	最初は、万富公民館に1台あった卓球台からスタートし、現在は6台の卓球台で交流を行っています。 卓球というスポーツを通じて健康で生き生きと過ごすことができる地域づくりを目指しています。 これからの目標としては、スポーツが苦手な人でも気軽に参加してもらい、体を動かしながら交流ができるよう活動を継続していきます。	
取組の内容	1 卓球をしながら運動 2 他地域の人との交流 3 卓球を通じた健康づくり	
取組の実施期間	万富ピンポン 発足 平成26年7月1日～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了
今後の活動展開など	今後の活動展開 1 気軽に参加できる体制づくり 2 子ども達との交流 3 千種学区スポーツ協会との連携 4 他団体との交流 5 国際交流の推進	
協働による効果	万富公民館の大研修室を使用して、万富ピンポンが誕生したのを契機に、健康体操、SKB体操などの高齢者を対象にしたクラブが次々と誕生しました。 それぞれのクラブの練習日には、会員が万富公民館へ集まり、元気な笑顔であふれています。 千種学区外からの卓球愛好家が多く参加しており、地域間交流の輪が広がっています。	
協働団体とその役割	団体名	万富ピンポン（火曜日昼の部）
	団体種別	自主組織
	役割	会の運営

	団 体 名	万富ピンポン（火曜日夜の部）
	団体種別	自主組織
	役 割	会の運営
	団 体 名	万富ピンポン（木曜日昼の部）
	団体種別	自主組織
	役 割	会の運営
	団 体 名	万富公民館
	団体種別	公民館
	役 割	会場の提供、クラブとして支援
	団 体 名	千種学区連合町内会
	団体種別	自治団体
	役 割	活動支援
	団 体 名	千種スポーツ協会
	団体種別	自主組織
	役 割	スポーツの支援